



Data 2021-155
監督・脚本：濱口竜介
出演：古川琴音／中島歩／玄理

👁️👁️ みどころ

男同士でも女同士でも、そして男女間でも“運命的な出会い”(=最高の出会い)はあり得るはず。それは、ある意味、魔法のようなものだが、本作冒頭、タクシーの客席の中で盛り上がる女同士のそんなおしゃべり(会話劇)は面白い。しかし、その裏には一体何が・・・？

しかして、第一話のタイトルの意味は？こんな度重なる“偶然”の中で一体どんな“想像”を・・・？

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■□■よくそここまで！女同士の恋愛談義の機微を会話劇に！■□■

私は近時の“ジェンダー論”には反対で、男女の性別をハッキリ考えるたち。そんな私には本作冒頭、タクシーの中でモデルの芽衣子(古川琴音)とヘアメイクのつぐみ(玄理)が展開する、長々とした女同士の恋愛談義(つぐみののろけ話?)にビックリ！なぜなら、そのセリフ(脚本)は、すべて濱口監督が書いているからだ。「濱口メソッド」で鍛え上げられた古川琴音と玄理という二人の女優が完璧に演じているからこそ、この長ったらしい二人だけの会話劇で10分以上観客を引き付けられるわけだが、よくぞ濱口監督はここまで深く複雑な女ゴコロに精通しているものだと感服！

そう思っていると、先に降りたつぐみと別れた芽衣子は、運転手に「今きた道を戻って」と命じたから、アレレ・・・これから一体、どこで何が始まるの？

■□■「魔法 (よりもっと不確か)」なるタイトルの由来は？■□■

第1話は「魔法 (よりもっと不確か)」という、分かったような分からないようなタイトルになっている。これは、タクシーが到着したオフィスで、元カレだったカズ(中島歩)に吐き捨てる「魔法みたいな時間を過ごしたんだってね」という芽衣子のセリフに由来するものだ。このセリフは、つぐみが長々と芽衣子に対して“運命的な出会い”を果たした

男との“のろけ話”の中で使われたセリフらしい。その日、つぐみは彼に対してすべてを許してもいいと考えたが、結局何もせずに別れたらしい。そして、その時、「次会ったときに、この魔法が解けちゃってたなら、それはそれでいいんじゃない、今日は人生の中でも最高の日だったけど、もし次会ったときこれよりいい日が過ごせたらそれってすごいし、なんか希望が持てるよね、そうなたらいいね」との会話があったらしい。しかして、なぜ芽衣子はカズに対して「魔法みたいな時間を過ごしたんだってね」と怒りをぶつけたの？

■□■こんな偶然ってあり！？元カシ、元カノの正体は？■□■

それは、つぐみが“運命的な出会いを果たした”とのろけていた男こそ、芽衣子の昔の彼氏＝カズだったからだ。逆に言えば、カズがつぐみに話していた「2年前に別れた元カノ」とは芽衣子のことだったわけだ。こんな偶然って本当にあるの？カズと芽衣子が2年前に別れたのは、一方的な芽衣子の浮気のため。したがって、突然の芽衣子の来訪に驚かされたカズが「さっさと帰ってくれ！」と対応したのは当然。ところが、事務員を先に帰らせた中で続く二人の痴話喧嘩(?)の行方は？

「帰ってくれ」と何度も言われながら、次々と挑戦的なセリフを投げつける芽衣子の女ゴコロは私にはよく分からないし、痴話喧嘩の末に今さらのように芽衣子を抱きしめようとするカズの男ゴコロも私にはよくわからない。しかし、「想像したことないでしょ？カズを傷つけたことで、私がどれだけ傷ついたか」との告白(?)を聞いたカズが表情を緩めて、芽衣子を抱きしめようとしたのは、ある意味、必然？自分を抱きしめようとするカズに対して、芽衣子は「私を抱きしめると自動的につぐみは消えるけどいい？だからって私はあんなものになるとは限らない」と突きつけ、さらに「魔法よりもっと不確かなものを、それでも信じてみる気はある？」と迫ったが、さてカズは？

こんな展開はメチャ面白いが、そんな現場を、忘れ物を取りに戻ってきた事務員に目撃されてしまったから、こりゃ最悪！そんな偶然もすごいが、さあ、そこから始まる「想像」は・・・？

■□■カフェで三者が鉢合わせ！そんな偶然も！？想像は？■□■

第1話の第3幕(?)の舞台は、三日後のあるカフェ。そこでは、芽衣子とつぐみがお茶をしていたが、つぐみは今晚、カズに話したいことがあると誘われているらしい。そこにカズが現れたため、つぐみはカズをカフェに招き入れたが、そこで気まずそうにするカズを前に「ぐみちゃんごめん、カズの元カノって私なの。ひどい偶然でしょ。ウケるね。」とのセリフが流れるからすごい。こんな修羅場で男(カズ)は一体どんな態度をとればいいのか？私ならこんな場所に立つことは絶対イヤだが、本作ではそれが想像ではなく、実際に起きた偶然(?)だから仕方なし！？しかして、その後の三者の展開は？もしくは、そんな最悪の事態(?)から想像される次の展開は？なるほど、なるほど、それは、あなた自身の目でしっかりと！

2022(令和4)年1月25日記